

# ゾコーバ<sup>®</sup>錠を服用される 患者さんとそのご家族の方へ

【監修】 グローバルヘルスケアクリニック 院長 水野 泰孝 先生

## 新型コロナウイルス感染症とは

ウイルスによって引き起こされる疾患です。  
そのため、ウイルス量を早期に下げることが大切です。



症状があらわれる

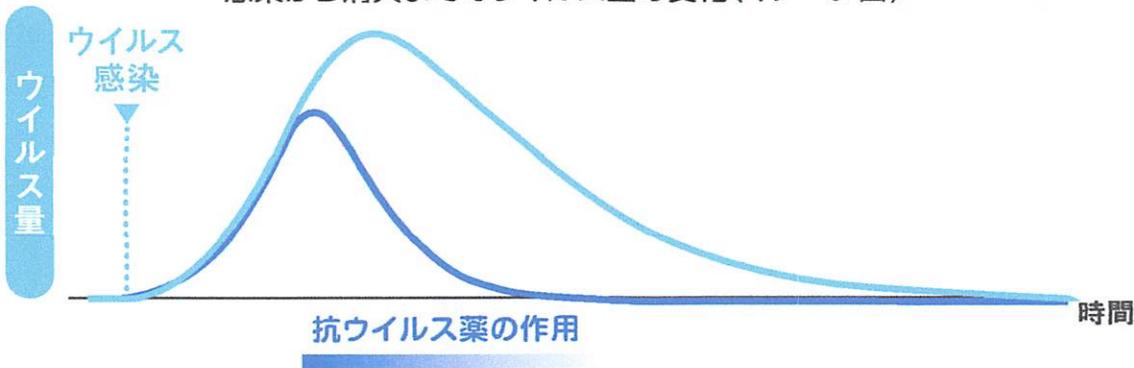


治療や療養が終わった後にも  
後遺症(症状が長引く・新たにあらわれる)が出ることもあります。

## ゾコーバ<sup>®</sup>錠の働き

ゾコーバ<sup>®</sup>錠は、プロテアーゼと呼ばれるウイルスの増殖に必要な酵素を邪魔することで、体の中でウイルスが増殖することを防ぎます。  
その結果、症状が回復するまでの期間を短くすることが期待できるとされています。

感染から消失までのウイルス量の変化(イメージ図)



## ゾコーバ<sup>®</sup>錠の服用前にご注意いただきたいこと

ゾコーバ<sup>®</sup>錠を服用する前に、必ず以下の2つの質問をご確認ください。  
もし、「はい」に当てはまる質問が1つでもある場合は、担当の医師、薬剤師または看護師にお伝えください。

① 以前にゾコーバ<sup>®</sup>錠に含まれる成分でアレルギー症状が出たことはありますか？

② 日常的に服用している薬やサプリメント、健康食品などがありますか？

- ゾコーバ<sup>®</sup>錠と一緒に服用できない薬やサプリメント、健康食品などがあります。
- ゾコーバ<sup>®</sup>錠と一緒に服用できる薬やサプリメント、健康食品などの中にも、一緒に服用することで日常的に服用している薬などの副作用が強くなり、ゾコーバ<sup>®</sup>錠の効果が弱くなる可能性があるため、注意を要するものもあります。
- 日常的に服用している薬やサプリメント、健康食品などがある場合は、必ず担当の医師、薬剤師または看護師にお伝えください。

例)



薬・サプリメント



ハーブティー

## 女性患者さんにご注意いただきたいこと

ゾコーバ<sup>®</sup>錠を服用する前に、必ず以下の3つの質問をご確認ください。  
もし、「はい」に当てはまる質問が1つでもある場合は、担当の医師、薬剤師または看護師にお伝えください。

- ① 現在、妊娠していますか？  
妊娠中の女性は、ゾコーバ<sup>®</sup>錠を服用できません。
- ② 現在、妊娠している可能性はありますか？  
妊娠初期には、妊娠検査薬で陰性を示す場合があります。  
妊娠している可能性のある女性はゾコーバ<sup>®</sup>錠を服用できません。
- ③ 前回の月経後に性交渉がありましたか？  
前回の月経後に性交渉を行った場合は妊娠している可能性があります。  
また、避妊をしても、妊娠している可能性があります。



ゾコーバ<sup>®</sup>錠を服用中～服用終了後2週間以内の期間は、以下の点にご留意ください。

- 妊娠した、あるいは妊娠していることがわかった場合 ▶ 直ちに担当の医師、薬剤師または看護師にお伝えください。
- 性交渉を行う場合 ▶ パートナーとともに適切な避妊を行ってください。
- 授乳 ▶ 避けることが望ましいです。

## ゾコーバ<sup>®</sup>錠の服用方法

ゾコーバ<sup>®</sup>錠は新型コロナウイルス感染症の治療薬です。  
発症後、速やかに服用を開始することが望ましいです。

- ゾコーバ<sup>®</sup>錠は必ず**5日間**服用してください。
- **1日目には1回3錠**(375mg)、  
**2～5日目には1日1回1錠**(125mg)を服用してください。
- 食事の有無にかかわらず服用できます。
- 飲み忘れに気が付いた場合は、医師、薬剤師または看護師に相談してください。  
決して2回分を1度に服用しないでください。
- 万が一、薬が残ってしまった場合でも、絶対に他の人に譲らないでください。



## 副作用について

### 重大な副作用

- アナフィラキシー

主な自覚症状:発疹、じんましん、またはその他の皮膚症状、急に脈拍がはやくなる、のみこみにくい、息が苦しい、くちびる・舌・顔などが腫れる、喉が絞まる感覚、声がかすれる など

このような症状があらわれた場合には、ゾコーバ<sup>®</sup>錠の投与を中止し、すぐに医師、薬剤師または看護師にご相談ください。

### その他の副作用

- HDLコレステロール低下
- トリグリセリド上昇
- ビリルビン上昇
- 血中コレステロール低下
- 脂質異常症
- 血清鉄上昇
- 発疹
- 悪心
- 嘔吐
- 下痢
- 腹部不快感
- 頭痛
- そう痒

まだ知られていない副作用やリスクがあるかもしれません。

これまでに報告されていない症状・疾患があらわれる可能性もありますので、異常を感じた場合には、担当の医師、薬剤師または看護師にご相談ください。